

### 1. 1200億円の円借款供与

3/22、岸田文雄外相は、訪問先のダッカで、同国の電力やインフラなどの整備促進のため総額約1200億円の円借款を供与すると表明した。

### 2. ダッカのバス全路線でICカード使用導入

JICA は Bangladesh 政府の要請を受け、2012年4月に IC カードシステムを、 Bangladesh の国営バス会社の2路線に導入し、試験運用を行っていた。当初、IC カードがダッカの人々に受け入れられるのかという不安もあったが、導入後は「非常に便利」との声が多く、なおかつ不正乗車も防げ、運賃収入の大幅アップにもつながった。さらに従来、男性に混じっての切符購入をためらっていた女性から重宝がられるという副次的効果もあった。このほど、このシステムが、JICA の「ダッカ都市交通料金システム IT 化プロジェクト」により、 Bangladesh の国営バス会社のダッカのほぼ全路線に導入する方向を目指すことが決まった。

### 3. ダッカ～チッタゴン:4レーンハイウエー、12月までに完成

運輸大臣オバイドゥール・カダールは、「ダッカ～チッタゴン間の4レーン・ハイウエーが今度の12月までに完成する」と述べた。チッタゴン商工会議所会長マハブブール・アロムは、「大臣にダッカ～チッタゴン:ハイウエーはわが国の経済ライフラインであり、現在進行中の作業はできるだけ早く完成させなければならない」と言った。オバイドゥール・カダールは会議所のメンバーに、「第2カチプール橋、第2メグナ橋、第2ゴマティ橋の4レーンの作業は日本国際協力機構(JICA)による基金 900 億ドルの経費で行われている。ダッカ～チッタゴン:ハイウエーの 50km の作業は完成した。192km のプロジェクトのうち 182km の杭打ち作業は既に完成しており、そのうち 76km のベース作業と 97km サブ・ベース作業も完成した。さらに、ダッカ-チッタゴンハイウエーにある 23 の橋のうち、15 の橋の修復も既に完成している」と話した。

### 4. 電気代6.96%上昇

政府は電気料金を平均 6.69%値上げした。これはほとんど全ての部門に影響するものと見られている。消費者は今月から新料金を支払うことになる。 Bangladesh エネルギー管理委員会(BERC)は、先週このことに関して行われた公聴会の後、この決定を発表した。電気代は前回のアワミリーグ政権時代に11回値上げされている。最後に値上げされたのは2012年の9月である。そのときの小売価格は15%、バルク価格では17%値上げされた。BERC 会長 AR カンは、「家庭用 50 ユニットまでの使用者には影響しない」と語っている。通信社によると灌漑に使われる電気代も値上げされない。

### 5. 衣料注文持ち直し

1/05の総選挙の後、 Bangladesh 国内の政情が安定したため、海外のバイヤーたちの注文が戻ってきている。これ以上政情混乱がなければ、衣料メーカーは今年末には輸出成長目標を達成することが可能となるだろう。輸出推進委員会のデータによると、中国に続き世界第2の輸出国である Bangladesh は、7月から2月の間に70億ドル相当のニットウェアと71億8千万相当の織物アイテムを、昨年度の同期に比べそれぞれ18.13%、17.32%増やした。 Bangladesh は1月に、22億4千万ドル以上の衣料を海外に輸出しており、これは1年前よりも7.09%多くなっている。

2014年に入り、 Bangladesh 前例のない量の衣料を海外に船積しており、それと同時に生地や綿の輸入も増えている。もし綿の国内生産が成長しなければ、国内の生地アパレル部門が素材を完全に輸入に頼ってしまうことになる。エコノミスト・インテリジェント・ユニットの報告によると、 Bangladesh の綿の消費量は衣料の高い需要に伴い 2014-15年度には8.75%上昇し870,000トンとなった。H&M とウォルマートの製品を生産している DBL グループの代表取締役 MA ジャッパは、「2013年には我々は18%の成長を達成した。そして今年は我々の新しい工場が既に生産に入っているので34%の成長をするだろう」と語った。現在、 Bangladesh は欧州では一般特惠システムにより無税である。パキスタンも75品目で欧州からGSPを認められ1月から有効となっている。

### 6. ガペスポ:フェアで2千万ドルのスポット受注

1/13、「ガメント及びパッキング博覧会 (ガペスポ gapexpo) とガーマンテック、ヨーンとファブリック・フェアが・フェア」が、市内のボンゴボンドゥー・国際会議センターで、4日間にわたって行われ、アパレルアクセサリ、パッキングなどの製品、合計2千万ドル相当のスポットオーダーを国内外のバイヤーから得た。

BGAPMEA 会長は、「ドイツ、インド、中国、パキスタン、台湾、オーストラリアそしてアラブ共和国を含め 25 カ国から参加があり、ショーでは製品を披露した。衣料メーカーテクノロジー、ヨーンそしてファブリックそしてガーメンツ・アクセサリー及びパッキングは、500 の出店が既製服 (RMG) 部門の利益のためにひとつの屋根の下に並べられた。しかし、フェアの間、警察週間プログラムや他の政府関係のプログラムのためにやや不便を感じた参観者も多かった。初日、外国からの出店がいくつか閉められ、開始が 2 時間遅れた日もあった」と語った。

## 7. 既製服工場 (RMG) のコンプライアンス見直し

政府の大臣と書記官たちは、「アメリカ市場での特惠関税制度 (GSP) の復活のため、既製服 (RMG) 工場のコンプライアンス状況を見直すことにした」と語った。彼らはバイヤーからの要求ラインに沿ったコンプライアンスの必要事項の実施結果や進行過程を評価し、衣料工場で起きるかも知れない火事や事故の後の対応が、円滑に進むように指示している。RMG 関係者は、「既製服縫製工場でコンプライアンスが確実にされるように、様々な分野で目覚ましい改革が展開されている。多くの検査官が職場の安全状態を検査に行くように任命されている」と語っている。多くのアパレル工場で働く労働者の命を奪ったタズリーンファッション工場の火災とラナプラザの崩壊の後、アメリカ当局は労働法違反と労働条件が貧弱なことを理由に、昨年 7 月アメリカ市場でのバングラデシュ製品に対する GSP 制度を取りやめにした。商業大臣トファイル・アハメドは、「データベースの作成や、200 人の検査官を任命することを含めたアメリカアクションプランにより設定された条件のほとんどが、3 月までには満たされると語った。16 の条件のうち、それらを全て満たすには時間のかかるものもある」と語った。また他の取引関係者の話によると、「最近発表された労働者の新賃金制度が、多くの工場でまだ実行されていないので、これが適切に実行されることも政府にとっては大きな関心事となるし、このことが産業地区での争議の引き金になる恐れがある」と話している。

## 8. アリانس、工場検査開始

3/12 から、27 の北アメリカ小売業者とブランドのプラットフォームであるバングラデシュ安全同盟 (アリانس) は、衣料工場の検査を始める。バングラデシュ労働者の安全のためのアリانس (同盟) の最高責任者メスバ・ロビンは、「7 つのチームが 40 以上の工場を検査することになっている」と語った。アリانس (同盟) は 600 以上の工場を検査することになっているが、アリانس (同盟) の主要な小売業者ウォルマートは、既に 200 の工場を検査を行っている。ロビンは、「もし専門家たちが既に検査した 200 の工場のレポートを認めるならば、これらの工場を再び検査する必要はない。この場合アリانس (同盟) は、残りの 400 だけの工場を検査することになる」と付け加えて語った。アリانسより先に、バングラデシュにおける火災と建物安全に関するアコード (協定) は、2/20 から既におよそ 1,600 に近い工場の検査を始めている。他にバングラデシュ工科大学に率いられた専門家による 30 のチームも、昨年 11/21 から工場検査を開始している。タズリーン・ファッション火災とラナプラザ崩壊の後、主にヨーロッパの小売業者やブランドが合計 150 ほど合法建物協定 (アコード) に署名し、27 の北アメリカの小売業者とブランドがアリانس (同盟) に参加し、バングラデシュの衣料部門の安全を強化しようとしている。

## 9. 生産停止中の賃金や手当の支払は不明なまま

現在行われている安全評価イニシアティブのために、ノンコンプライアントの工場は、生産差し止めを強制されている。この間の労働者の賃金や手当への支払いについては、あいまいなまま推移しており、労働者のリーダーとメーカーたちは、この問題が早く解決されなければ、既製服 (RMG) 部門で新たな争議が起こるのではないかと心配している。たとえばソフテックス・コットン・プライベートリミテッドは、アコード (協定) 検査チームと公式審査委員会による検査の結果、少なくとも 3 ヶ月の生産差し止めとなった。ソフテックス・コットンの労働者たちは、工場建物が危険な状態であるので閉鎖するという掲示が、ゲートにかけられているのを見て賃金の支払いを要求しデモを起こした。アコード (協定) の代表たちは工場のオーナーが労働者の賃金を支払う義務があると言っているが、アパレルのリーダーたちや工場のオーナーたちは、「3 ヶ月間の賃金や手当を支払うことはできない」と主張している。小売業者、ブランド、協同組合の最大のプラットフォームであるこのアコード (協定) は、その安全評価の際、ソフテックス・コットンの建物に構造上の欠陥を発見し、4階が改造されるまで生産を差し止めするように言い渡した。さらに委員会はミルプールにある 8 階建ての衣料工場にも、その工場内の在庫積量を減らすように指示し、それが達成されるまでの間、生産を停止するように言い渡している。

様々な小売業者のグループにより工場評価を受けた後、「生産差し止め期間中の賃金や手当の支払い」のような問題が次ぎから次ぎへと噴出している。そして統一基準やスプリンクラーの設置を含め、たくさんの問題が解決されないままになっている。これらの問題が早く解決されなければ、これが不本意で大規模な労働争議に繋がるのではないかと、工場オーナーたちは心配している。インダストリアル・バングラデシュ・カウンシルの書記長ロイ・ラメシュ・チャンドラは、「関係ブランドは、生産停止中や修復期間中の労働者の賃金の支払い保証をするべきである。さもなければデモは絶

え間なく起こるであろう。主要義務は工場のオーナーにあるが、ブランド側も注水量を増やすか製品価格を値上げするか、金融援助をするかなどで、工場を援助しよい仕組みを作るべきだ」と述べている。

## 10. 工場検査基準の統一ガイドライン作成が必要

バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会(BGMEA)の元会長アンワール・ウル・アラム・チョードリ・パルベスは、工場検査プログラムのガイドラインを調整するステップを取ることを、政府に申し入れ、「海外のバイヤーたちは自分の国の見解から基準を押し付けようとしている。バングラデシュの状況」も考慮に入れガイドラインを設定することが必要である。もし現在行われている検査方法がそのまま続けられるならば、既製服(RMG)部門では生産停止工場が続出し、わが国は予期もしないような不況に直面するであろう。労働者も賃金が受け取れなくなるだろう」と述べた。さらに、「公共事業省、商業省、DIT, BUET, BNBC, バングラデシュ・エンジニア学会などを含め、多くの公民エージェントから様々な検査基準が示されている結果、検査の手順や評価方法に混乱をきたしている。現在のバングラデシュの状況の下では、若干緩めの検査統一ガイドラインを作成することが緊急に必要とされている。さらに検査後即工場を閉鎖させるべきではなく、その工場に一定の期間を与え、合意された基準に従うことができるようにするべきだ」と提案している。

## 11. 衣料メーカー・工場オーナー、欠陥修復に時間的余裕を要望

衣料メーカーは、アコード(協定)とアリアンス(同盟)の工場検査官に、「もし検査中に落ち度が見つかったら、工場をすぐに閉鎖しないよう」に求めた。工場のオーナーたちも、欠陥を修理する時間をくれるように頼んだ。バングラデシュ衣料メーカー及び輸出業者協会の事務所で行われた会議で衣料メーカーたちは、「検査が始まった2/20から安全チェックをクリアできず、多くの工場が閉鎖されている」と語った。多くのオーナーたちは、「賃金や未払い分を彼らの労働者たちに支払いができず、猶予時間もなく工場を閉鎖され海外からのバイヤーからの注文を失っている」と話している。工場検査官たちは、ミルプールにあるソフテックス・コットン・プライベートリミテッドのオーナーにただちに工場を閉鎖するよう言い渡した。工場のオーナーたちは、商業大臣とファイル・アハドも出席していた会議で、「もし現在の方法で検査がこのまま行われるならば、バングラデシュの衣料工場の40%以上が閉鎖されることになるであろう。バイヤーは検査のために職を失った労働者に、償うべきだ。工場だけに負担を強いるのは酷だ」と述べている。大臣は、「政府はすぐに工場検査から起きている問題を見分けるために、委員会を構成することになっている」と述べた。一方、ジーンズ・ケア工場のように、補正処置を直ちに取るようにとの審査委員会からの提案を受け、その後また工場を再開した例もある。

## 12. 商業大臣、「陰謀に立ち向かえ」と発言

商業大臣トファイル・アハドは、わが国のRMG産業の現在の状況についてのセミナーで、「国内外の多くが、わが国のRMG部門の成功を妬み、この部門を破壊してしまおうと陰謀をたくらんでいる。1972-73年度に2億ドルという小さい額から始まったこの輸出が、現在270億ドルに相当する額の製品輸出まで伸びた。今年度は305億ドルを達成するだろう。外貨準備金も190億ドルを超えた。その上わが国は食料についても自給自足できる。これを妬む競争相手国が現れているのだ。これに比べパキスタンの輸出は240億ドルで外貨準備金は100億ドル以下である」と述べた。

さらに大臣は、バングラデシュを英雄国民と讃え、「バングラデシュは決してどんな脅しにも屈せず、それどころか全ての陰謀に立ち向かい、進展に向かうこの旅を続けていく」と語った。また大臣は北アメリカの「アリアンス」と欧州ベースの「アコード」やその他株主を訪問し、RMG部門にアメリカ市場でのGPS制度を復活させる条件の一つであるコンプライアンス問題を解決するために、工場オーナー達に十分な時間を与えるよう求めた。工場をコンプライアントにすることは一晩では解決できない過程が必要で時間がかかるものであり、「もし彼らに十分な時間の余裕を与えないで、工場を閉鎖させてしまうということは、わが国のRMG産業を破壊してしまおうとしている陰謀にかかわっているという証拠である」と続けた。大臣は、「政府は、衣料生産村を造ることを約束し、既にムンシゴンジのバウシアに500エーカーの土地を用意している。政府はまもなく約束した現在0.8%の利子をやめ0.3%にする。これがRMGオーナー達の、現在の金融危機を乗り越えるのに役立つものとなることを願っている」と強調した。

## 13. 著名衣料工場でも欠陥発見

ヨーロッパのブランドと小売業者に雇われたエンジニアたちは、5年計画の点検計画の元で行われた最初の精密調査で電気や建物の構造の欠陥を、10の有名なわが国の衣料工場で確認した。バングラデシュ火災及び建物安全協定(アコード)からのチームは、適切な安全処置無しで床の上にケーブルが発見されれば電気関係の安全対策に問題があることを発見したと欠陥のタイプの例として語った。さらに検査チームは工場建物内の様々な階で、重量オーバーの品物の発見、出口から十分に出入される余裕がないこと、スプリンクラーがないなども見つけた。アリフ・ガーマンツ、ビッグ・ボス・コープ、アンリマ・テキスタイルズ、ドラゴンセーター、グラミン・ニットウェア、マジウムダール・ファッションズ、レッ

ド・ポイント・ジャケット、リオ・ファッション、ファッション・アイランドそしてビエラテックスで欠陥が発見された。アコードは公式に3月20日から安全チェックを始めている。68の工場のうちこれまで2つの工場が、構造上重大な欠陥が発見され一時的に閉鎖された。しかしこれらのうちの1社は置かれた物資の重量を減少させた後、工場を動かすことが許可されている。最初の検査プログラムが、現在、全力で行われているが、今年の9月いっぱいまでかかるだろう。約250の工場が毎月検査を受けることになっており、そのプランによると、1500のサプライヤー工場が全て検査されることになる。まず5階以上ある危険率の高い建物から検査が始まっている。アコード、ブランドや労働組合、工場オーナー、産業協会、そして労働省と共同で集中的に作業を進めている。また27の北アメリカの小売者とブランドのプラットフォームであるバングラデシュ労働安全同盟（アリアンス）は、本日より400の工場を検査することになっている。

#### 14. チッタゴンのセーター工場、賃金不払い

ダッカ輸出加工地区（DEPZ）にあるセーター工場、ヘリコン・リミテッド（従業員数約1400名）が、無期限閉鎖を宣言され、労働者の動揺が続いている。労働者たちは、朝出勤したとき工場の正門に閉鎖の掲示が下がっているのを見つけ、工場の閉鎖を知ったようだ。ヘリコンリミテッドでは、通常、毎月6日に賃金の支払いをしていたが、資金ショートのため3/06に支払いすることができなかった。アシュリア産業警察の副ディレクター、サヒルルール・イスラムは、「これが労働者たちのデモに繋がり、会社側は工場閉鎖に踏み切った」のだろうと語った。

以上